

1年	単 元 名	地球ぼしにあるいろいろなかたち（かたちあそび）
算数		

1. 単元の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分類をしたりする。【知識及び技能】 ・身の回りにあるものの形に着目し、その特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考え、表現したりする。【思考力、判断力、表現力等】 ・身の回りにあるものの形について、構成・分類をしたり特徴や機能を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする。【学びに向かう力、人間性等】

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入で絵本の読み聞かせを、ものの形の特徴をイメージしやすくした。また、単元を通して、子どもの思考の流れに沿って本のストーリーと関連付けた学習課題を設定し、子どもたちの活動意欲を高めた。
--

3. 授業での活用場面

主な学習活動と予想される児童の反応(・)	○教師の支援 ◆評価 ☆学校図書館の活用に関すること
<p>1. 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球ぼしにはいろいろな形があったよ。 ・地球ぼしにも「○△□ぼし」の形があったね。 ・地球ぼしの形をなかまにわけたよ。 ・□にも色々な□があったよ。 <p>2. 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>形をさわってわかったことを おはなししよう。</p> </div> <p>3. グループに分かれ、形を触ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱の中には2つ形が入っているな。 ・かどがいっぱいあるよ。 ・2つともころがらないな。 ・さんかくとまるがいっしょになったみたいなかたちだよ。 <p>4. 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼうしみたいなかたちがあったよ。 ・友だちの意見を聞いて、四角の箱がはいっていると思ったよ。 ・想像した形を書いてみたよ。 <p>5. 答え合わせをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想像していた形だったよ。 ・想像していた形と違ったよ。 ・この形は何星からきた形だろう。 	<p>○前時に出てきた言葉や図形を黒板に掲示したり立体図形を見せたりしながら前時を振り返る。</p> <p>☆「○△□ぼし」からの手紙を読むことで、子どもたちが興味を持って主体的に活動に取り組むことができるようにする。</p> <p>○活動のイメージをもたせるために、代表の児童に、全員の前で一度やってみせる。</p> <p>○児童が形を予想する際、思考の支えとなるように、見える位置に立体図形を置いておく。</p> <p>○グループで出てきた言葉はホワイトボードに集め、2つの立体図形の特徴や機能を子どもたちの言葉でまとめられるようにする。</p> <p>◆立体図形の特徴や機能を手で触って確かめ、形についてわかったことを自分の言葉で表現している。(発言・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの立体図形のどの図形について話しているかわかるように、板書を工夫したり子どもに確認をしたりする。

6. 振り返り

- ・ 四角は平らがいっぱいあってわかりやすかったよ。
- ・ 丸と三角がある形は何星からきた形なのか気になったよ。
- ・ 友達の考えを聴いて、形が想像できたよ。

・ ホワイトボードにまとめた言葉の中で、立体図形の特徴や機能と合っている言葉には赤ペンで丸をつけるように声をかける。

・ 全体での話し合いのときに出た言葉や図などを、実際の立体図形をみながら確認する。

○ 算数的要素を含んだ振り返りの言葉が出るように、発問を工夫する。

4. 考察（成果や課題等）

単元の導入において絵本の読み聞かせを行い、本のストーリーと関連付けた学習課題を設定することにより、意欲を高めたり、単元の見通しをもって学習に取り組んだりすることができた。